

事業番号	06 05 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	自然公園管理事業	部局	環境部	課・室	自然保護課				
		実施期間	S33 ～	E-mail	shizenhogo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

令和 4 年に自然公園法が改正され、自然環境の保護を重視するとともに、今後は自然公園の利用を推進することとされた。 また、県内自然公園の利用者数は、コロナ禍で大幅に減少（R1：3,881万人→R2：2,289万人）したものの、徐々に回復傾向にあり、自然とふれあう機会の拡大による自然保護意識の向上が期待される。 このため、自然公園の魅力を広く発信することで利用者を回復し、より一層の自然公園の保護に取り組む必要がある。

2 事業目的

県内自然公園が有する美しく豊かな自然環境や風致景観を保全するとともに、国内外から多くの人々が繰り返し訪れるよう、魅力ある公園づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①自然公園施設（自然保護センター等）の管理運営 ・自然公園の保護と適正な利用を推進し、並びに自然体験活動の機会を提供するため、県有自然公園施設等（霧ヶ峰、乗鞍、美ヶ原、御嶽山）の維持管理と適正な運営を実施
②自然公園における協働型管理運営の推進 ・自然公園における地域ルール作成や地域課題の解決に向けた取組の進捗管理を行うことを目的として、行政機関、保護団体、利用推進団体等の関係者が参画する協議会（地域会議）を設置し、関係者との協働により自然公園の保護及び利用を推進
③自然公園における利活用の推進 ・自然公園として先人が保護してきた自然の風景地の魅力をより多くの人に楽しんでもらうため、観光サイトを通じた情報発信を強化するとともに、自然環境が損なわれないよう配慮しながら自然や文化を楽しむエコツーリズムの普及に努め、保護と利用の両立を推進 ・県から山ノ内町へ移管した志賀高原自然保護センターについて、展示改修に要する費用を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	自然公園施設来館者数	千人	30	41	↗	43	↗	40	達成	前年度の利用者数を上回ることを目指す。 (数値は、R6に山ノ内町へ移譲する志賀高原自然保護センターを除く4施設の合計値) ※R6年度補正予算案のシートに記載したR5年度実績は見込みであったため確定値にしました(修正前:35、修正後:41)
②	地域会議開催回数	回	6	6	→	9	↗	10	未達成	コロナ対応により開催を見合わせてきたが、R5年度は地域関係者と調整の上、各地域で1回以上、その他協議事項がある地域は所要の回数開催することを目指す。 ※R6年度補正予算案のシートに記載したR5年度実績は見込みであったため確定値にしました(修正前:8、修正後:6)
③	自然観察インストラクター活動者数	人	66	43	↘	40	↘	110	未達成	コロナ禍で自然観察会等の実施が減っていたが、ガイド人材の育成やマッチングサイトを通じた人材の照会を図ることで活動者数の増加を目指す。 ※R6年度補正予算案のシートに記載したR5年度実績は見込みであったため確定値にしました(修正前:80、修正後:43)

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	自然公園利用者数	万人	2022 (R4)	3,113	2023 (R5)	3,538	2024 (R6)	3,709	2027 (R9)	3,820

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	15,950	76,195	△ 17,919	74,226	57,325	66,318	6.5
R5年度	0	88,124	△ 6,283	81,841	55,273	36,498	6.5
R4年度	175,952	38,319	0	214,271	38,287	211,292	6.5

事業番号	06 05 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	自然公園管理事業	部局	環境部	課・室	自然保護課			

7 主な取組実績と成果

①自然公園施設（自然保護センター等）の管理運営

- ・霧ヶ峰自然保護センター及び御嶽山ビジターセンターにおいて、それぞれ指定管理者への委任により、民間のノウハウを活かした施設運営を実施
- ・各センター周辺のフィールドを活かしたガイドツアーやスタンプラリーなど、年齢に関係なく楽しめるイベントを開催

②自然公園における協働型管理運営の推進

- ・現在県立公園に指定している御嶽山一帯について、国定公園への格上げを目指し、町村などの関係行政機関、地元事業者及び専門家を会員とする「御嶽山自然公園保護利用協議会」を開催し、公園計画（案）に対する意見聴取や目指す姿について議論
- ・中央アルプス国定公園において、関係行政機関や地元事業者等、31団体に対するヒアリング及び意見交換会を通じて、協働型管理運営の指針となる管理運営計画（案）を策定

③自然公園における利活用の推進

- ・自然探勝、動植物観察、登山やトレッキングといったアウトドア体験等、自然公園における観光的魅力を、県公式観光サイト GoNAGANOを通じて発信
- ・自然環境が損なわれないよう配慮しながら自然や文化を楽しむエコツーリズムを普及するため、「エコツーリズムガイド人材育成講習会」を乗鞍自然保護センター及び周辺フィールドにおいて開催

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	自然公園施設来館者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
・霧ヶ峰高原について、令和 6 年度は保護活動に力を入れているニッコウキスゲの開花状況が非常に良好であったことから高原への興味関心が高まり、霧ヶ峰自然保護センターへの来館者が増加した。 霧ヶ峰自然保護センター来館者数 R5 15,527人→R6 17,024人（前年度比 約110%）							
指標 ②	地域会議開催回数	R5年度推移	→	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
・御岳県立公園では、御嶽山の国定公園化に向けた協議を重ね、全 4 回の地域会議を開催した。 ・各地域で必要な地域会議を開催したほかにも、地元関係者とともに保護対策に取り組んだ。 ・上記のとおり、必要な会議は開催しているものの、他の地域では公園計画の変更などの協議事項がなく、会議開催に至らなかったため、結果として目標は未達成となった。							
指標 ③	自然観察インストラクター活動者数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
自然観察インストラクター活動者数については、ガイド活動報告書の提出数により算出しているが、ガイド活動を実施しても活動報告書が未提出であるケースも存在しており、潜在的な実績が反映されず目標値に届かなかった。 （自然観察インストラクター登録者数：224名）							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・御嶽山については、国定公園化に向けて、岐阜県や関係市町村、地元事業者等とともに公園の目指す姿について議論を深める必要がある。
- ・地域会議は、5つの県立自然公園及び中央アルプス国定公園で設置が完了しており、残りの 4 つの国定公園においても地域会議の設置を推進し、情報・課題の共有を図るとともに、必要に応じて公園計画の更新や管理運営計画の策定が必要である。
- ・自然観察インストラクター制度は、制度の周知や人材育成により登録希望者を募るとともに、インストラクターがガイドとして活動できる場を広げる必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・引き続き「御嶽山自然公園保護利用協議会」を開催し、地域の目指す姿について地元関係者と議論を重ねるとともに、御嶽山国定公園指定記念事業実行委員会（仮称）を設立し、岐阜県及び市町村とも連携の上、国定公園化の機運醸成やPRイベントを実施する。
- ・他の国定公園の先駆けとなる中央アルプス国定公園の管理運営計画（案）について、ヒアリング及び意見交換会により得られた意見を反映し、パブリックコメント等を経て令和 9 年度までの施行を目指すとともに、他の国定公園にも取組や進捗を共有、展開する。
- ・自然観察インストラクター制度について、引き続きHPにより人材募集を推進するとともに、令和 6 年度に構築した自然観察インストラクター紹介サイトを活用し、ガイド活動の場を創出していく。

事業番号	06 05 02	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	自然公園管理事業			部局	環境部	課・室	自然保護課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	自然公園施設管理運営事業		25,600 千円	27,554 千円	25,916 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然公園施設の管理運営	委託 指定管理	自然公園施設（自然保護センター及びビジターセンター）の管理運営を行い、館内展示や解説を通じた自然保護意識の普及啓発を実施。 4 施設の管理運営（指定管理 2、委託 2）、開館期間：4 月～11 月		
2	自然公園施設の広域連携促進	直接	自然公園施設（自然保護センター及びビジターセンター）の横の連携強化や情報交換等を行うため、令和 6 年度の取組や課題を共有する会議を開催 広域連携会議開催：1 回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	自然保護センター緊急修繕事業		823 千円	644 千円	18,182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然保護センター内の設備等の修繕	直接	利用者の利用環境向上や安全確保、施設の長寿命化のため、自然公園施設（自然保護センター及びビジターセンター）の施設修繕を実施 修繕箇所：5 箇所（霧ヶ峰 1 箇所、乗鞍 1 箇所、美ヶ原 2 箇所、御嶽山 1 箇所）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	自然保護レンジャー事業		310 千円	644 千円	453 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然保護レンジャーの委嘱	直接	自然公園内の美化清掃や利用マナーの普及啓発等を行なう自然保護レンジャーを委嘱するとともに、レンジャーの資質向上のための研修会を開催 研修会開催：2 回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	国定公園等自然環境保全事業		695 千円	866 千円	799 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然公園管理員の配置	直接	美ヶ原自然保護センターを活動拠点としセンター周辺の植生対策やマナー啓発等を行う自然公園管理員を雇用 雇用人数：1 名、雇用期間：7 月～10 月		
2	美ヶ原台上の管理	委託	県管理の公衆トイレ及びこのトイレや美ヶ原牧場の水源確保用のポンプその他給水施設等の管理 管理箇所：3 箇所（給水施設、管理小屋、公衆トイレ）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	自然ガイド人材育成・活用事業		1,879 千円	1,935 千円	2,942 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	エコツーリズムガイド人材の育成	委託	エコツーリズムを推進するため、県内でガイド活動をする意欲のある者を対象にガイド技術の専門知識・経験を有する講師による研修会を開催 研修会開催：1回		
2	ガイド人材マッチングサイトの構築	委託	自然観察会等を実施する者が、希望する解説分野や地域から、自然ガイドを容易に検索・依頼申込ができる仕組み（WEBサイト）の構築 サイト構築：一式		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	自然公園協働型管理運営事業		571 千円	201 千円	6,798 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然公園地域会議の開催	直接	関係者と協働した管理運営を推進するとともに、それぞれの地域特性に合った管理運営方法の検討を行うため、自然公園の関係者による地域会議を開催 地域会議開催：9回		
2	管理運営計画の策定	委託	ドローン飛行のルールなど自然公園の利活用における課題が発生している自然公園において利活用等の方向性を定めた「管理運営計画」を策定 「中央アルプス国定公園 管理運営計画」素案の策定		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	自然公園魅力向上マーケティング調査事業		2,741 千円	1,254 千円	150 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然公園サウンディング提案環境整備事業	補助金	サウンディング型市場調査における民間事業者からの提案の実現に向けて、市町村が行う環境整備に必要な経費に対して補助金を交付 整備支援箇所：市町村の要望取下げにつき2箇所→0箇所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	御嶽山国定公園化推進事業		— 千円	0 千円	6,380 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	公園計画書（案）等の作成	委託	御嶽山周辺地域の国定公園化に向け、環境省へ申出を行う公園指定書（案）・公園計画書（案）の作成 「御嶽山国定公園(仮称)指定書（案）・計画書（案）」を作成		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
9	自然公園旅行商品造成促進事業		— 千円	— 千円	1,798 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	エコツアー商品の造成支援	負担金	県内自然公園の資源を活かした旅行商品の造成や磨き上げ、販売プロモーションに係る経費を支援（観光部が行う旅行商品造成事業と連携して実施） 支援件数：4者		
2	自然公園の魅力発信	負担金	自然探勝、動植物観察、登山やトレッキングといったアウトドア体験等、観光的魅力を、県公式観光サイトGoNAGANOを通じて発信 GoNAGANO掲載記事数：8件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
10	協議会等負担金		2,750 千円	3,400 千円	2,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自然保護関係協議会への参画	負担金	各地域の自然環境の保全や利用の適正化等を図るため、各協議会の活動に必要な財源の一部を負担 支援協議会数：7団体		